

59. 借入金償還計画等一覧表

当該補助対象案件とは別案件の借入れについても「既借入分」として作成すること。

区分:		返済回数	返済年度	元金	利息	合計	利子補給	家賃収入	〇〇収入	償還補助	合計
新規借入分		1	令和10年度	0	7,600	7,600	2,888	0	4,712		7,600
既借入分		2	令和11年度	160	7,417	7,577	2,888	0	4,689		7,577
合計		3	令和11年度	160	7,017	40,897	2,736	8,925	29,236		40,897
新規借入分		4	令和12年度	0	6,617	40,497	2,584	8,925	28,988		40,497
既借入分		5	令和13年度	0	6,217	40,097	2,432	8,925	28,740		40,097
合計		6	令和13年度	0	6,217	39,697	2,280	8,925	28,412		39,697
新規借入分		7	令和16年度	33,880	3,817	39,297	2,128	8,925	38,172		39,297
既借入分		8	令和17年度	33,880	3,417	38,897	1,976	8,925	36,921		38,897
合計		9	令和17年度	67,760	7,234	38,497	1,824	8,925	35,151		38,497
新規借入分		10	令和19年度	33,880	3,817	38,097	1,672	8,925	36,425		38,097
既借入分		11	令和20年度	33,880	3,417	37,697	1,520	8,925	35,177		37,697
合計		12	令和21年度	67,760	7,234	37,697	1,992	8,925	34,705		37,697
新規借入分		13	令和22年度	33,880	3,017	34,897	1,520	8,925	33,377		34,897
既借入分		14	令和23年度	33,880	2,617	34,897	1,368	8,925	33,529		34,897
合計		15	令和23年度	67,760	5,634	34,497	2,888	8,925	32,607		34,497
新規借入分		16	令和24年度	33,880	2,217	35,697	760	8,925	34,937		35,697
既借入分		17	令和25年度	33,880	1,817	35,297	608	8,925	34,689		35,297
合計		18	令和25年度	67,760	3,634	34,897	1,368	8,925	33,529		34,897
新規借入分		19	令和26年度	33,880	1,017	34,897	456	8,925	34,441		34,897
既借入分		20	令和29年度	33,880	617	34,497	304	8,925	33,793		34,497
合計				610,000	80,123	690,123	31,768	160,650	497,705		690,123

該当する欄に〇印をつけること

オーナー名: (株)〇〇〇

施設名: 東都ホーム

施設種類: 特養・シヨート

利率: 2.0%

財源名を記載すること

施設種類ごとに作成すること。
 ・複数の施設種別がある場合、「全事業計画」も作成すること。
 ・防災拠点型地域交流スペースについては特養・シヨートに含めること。

借入先: (A銀行) (B銀行) 合計

整備区分: 施設整備 用地費 合計

償還財源内訳

利子補給

家賃収入

〇〇収入

償還補助

合計

「新規借入分」を選択した場合
 ①「借入先」別、「整備区分」別、「施設種別」別に作成すること
 ②最後に「新規借入分」の合計を作成すること

特養・シヨート、デイで融資を受ける
 (A/B銀行、施設整備・用地費ともに融資あり) 場合、以下の種別ごとに作成すること。
 ①新規、A銀行、施設整備、特養・シヨート
 ②新規、B銀行、施設整備、特養・シヨート
 ③新規、A銀行、用地費、特養・シヨート
 ④新規、B銀行、用地費、特養・シヨート
 ⑤新規、A銀行、合計、特養・シヨート
 ⑥新規、B銀行、合計、特養・シヨート
 ⑦新規、合計、合計、特養・シヨート
 同様にデイについて、①～⑦を作成
 同様に全事業計画について①～⑦を作成
 (この場合、21枚作成する)
 ※該当がないページは提出省略可

⑦の「元金」、「利息」、「利子補給」を「31 資金収支見込計算書(総括表)」に転記する。

円単位で金額を入力すること。(千円単位に切り替わります)

償還終了年度まで

「新規借入分」と「既借入分」がある場合は、最後に総合計を作成すること。

借入金償還計画等一覧表

該当する欄に○印をつけること		オーナー名：(株)○○○	施設名：施設A	施設整備 用地費 合計	償還財源内訳	利率：2.0%	位：千円		
区分：	借入先：	返済年度	元金	利息	合計	家賃収入	〇〇収入	償還補助	合計
返済回数	新規借入分 既借入分 合計								
1	○	令和7年度	74,690	7,975	82,665	75,570	0	0	82,665
2	○	令和8年度	68,530	447	74,977	68,717	0	0	74,977
3	○	令和9年度	48,770		54,195	48,770	0	0	54,195
4	○	令和10年度	48,770	4,591	53,361	48,770	0	0	53,361
5	○	令和11年度	48,770		48,770	48,770	0	0	48,770
6	○	令和12年度	48,770		48,770	48,770	0	0	48,770
7	○	令和13年度	48,770		48,770	48,770	0	0	48,770
8	○	令和14年度	48,770		48,770	48,770	0	0	48,770
9	○	令和15年度	48,770		48,770	48,770	0	0	48,770
10	○	令和16年度	2,400		2,400	2,400	0	0	2,400
11	○	令和17年度	2,400		2,400	2,400	0	0	2,400
12	○	令和18年度	2,400		2,400	2,400	0	0	2,400
13	○	令和19年度	2,400		2,400	2,400	0	0	2,400
14	○	令和20年度	2,400		2,400	2,400	0	0	2,400
15	○	令和21年度	2,400		2,400	2,400	0	0	2,400
償還終了年度まで			499,010	34,871	533,881	33,804	500,077	0	533,881
合計			499,010	34,871	533,881	33,804	500,077	0	533,881

・既借入分の整備区分は合計のみ作成すること。

・既借入分は施設毎に全事業計のみ作成すること。

施設整備
用地費
合計

借入先：(A銀行)
(B銀行)
合計

整備区分：施設A

利率：2.0%

位：千円

償還終了年度まで

「既借入分」を選択した場合、
表の「他の整備計画」に記載した同
時並行整備案件について「借入先」
別に作成すること(機構・協調融資の
2枚)

①「新規借入分」(同時整備案件①を
含む)の合計を作成すること
②「新規借入分」がある場合、
新規借入分と既借入分を合計し
た総合計を1枚作成すること。

「既借入分が施設AからCの複数ある場
合、借入先ごとに作成すること。」
①既存、A銀行、合計、全事業計(施設A)
②既存、B銀行、合計、全事業計(施設A)
③既存、A銀行、合計、全事業計(施設B)
④既存、B銀行、合計、全事業計(施設B)
⑤既存、A銀行、合計、全事業計(施設C)
⑥既存、B銀行、合計、全事業計(施設C)
⑦既存、A銀行、合計、全事業計(合計)
⑧既存、B銀行、合計、全事業計(合計)
⑨合計、合計、合計、全事業計(総合計)
※該当がないページは提出省略可

円単位で金額を入力する
こと。(千円単位に切り替
わります)

60. 融資先からの融資（見込）証明書（写）

融資証明書には必ず、①融資金額、②償還期間、③借入利率等を明記した融資（見込）証明書の写しを提出すること。ただし、借入利率が記載できない場合、都が定める借入利率（5年目まで2.5%、6年目以降3.5%）で償還計画を作成すること。